

せきね 知っ得! 通信

6

June

2019

社会保険労務士法人せきね事務所 せきね FP 事務所
〒947-0028 小千谷市城内 2-4-26 TEL.0258-83-3048 FAX0258-83-3049
メール sekinekyrs@mountain.ocn.ne.jp ホームページ http://www.office-sekine.com

第105号 発行：2019年6月

先日、小千谷商工会議所が開催した下記のタイトルのセミナーを受講しました。
営業研修などの「超・有名講師」のお話が素晴らしかったのでご紹介します。



「初対面の1分間で相手をその気にさせる技術」

「営業販売力強化セミナー」ということでしたが、セミナータイトルから「違う目的で参加したのでは？」と聞かれていた男性もいました（笑）

朝倉先生は、冒頭から圧倒的な存在感。「身体で覚えたことは忘れないから」と、講義中のメモなど不要と断言し、先生の指示に対して「ハイ！」と大きな返事をしてから行動する練習から始まりました。

第一印象は6秒で決まる

初対面で損をして肝心の営業まで辿りつけない人が多いとのことで、老いも若きも参加者全員で「返事」「お辞儀」「挨拶」を繰り返し練習しました。

先生の指示に対する「ハイ！」の返事を言い忘れたり、「お辞儀」ひとつとっても姿勢や角度、手足の位置、声を出すタイミングなどやってみるととても難しいのです。その後、「表情」の練習も加わり、さらに難易度が上昇。基本的なことが身につけていないことを認めざるを得ませんでした。



株式会社新規開拓
代表取締役
朝倉千恵子氏

売れる営業担当者の「A B C Dの法則」

「返事」「お辞儀」「挨拶」といった基本が出来ていない人が多いので、当たり前のことをキチンとやり続けることで「差別化」になるそうです。

A=あたりまえのことを B=ばかにしないで C=ちゃんとやる D=それができる人

接遇・印象力向上に注力し、最下位から全国1位に

積水ハウス(株)で最下位の成績だった某支店は、朝倉先生の営業研修を継続して受け、接遇・印象力向上を徹底して行ったところ、全国の支店で一位となり、お客様の満足度でもダントツで全国トップになったとのこと！！

誰でもできる当たり前のことを、しっかりとやることにとても重要な意味があることを証明する事例と言えます。

参考になれば幸いです！

新潟市のホテルに勤務するウェディングプランナーの40代女性が過重労働によるうつ病発症の為、労災認定を受けました。

経緯

- 2017年5月 結婚式業務の担当が2名から1名に変更
月100時間を超える残業となる
うつ病を発症する1カ月前は月250~300時間の残業。
土日は朝8時30分から夜中まで勤務、休日もほぼなかった
- 2018年1月 うつ病の診断（症状は2017年12月頃から）
弁護士が代理人となり、会社に残業代などを請求
- 2018年3月 会社側から、「管理職の為、残業代を支払わない」旨の文書が届く
- 2018年5月 会社側から、未払残業代のうち180万円が支払われる
- 2018年6月 代理人が新潟労基署に労災申請
- 2019年5月 労災認定（2018年1月~3月分）



NEWS HEADLINE

●健康保険 被扶養者の確認時期が変更

被扶養者確認時期が、今年は9月下旬から10月下旬に変更。確認の対象者が18歳以上の被扶養者だけでなく、すべての被扶養者について実施。

●マイナンバーカード 2022年度中に全国で健康保険証の代わりに

政府がマイナンバーカードの普及に向けた対策を決定。健康保険証として利用可能とすること、医療費控除の申請手続き自動化、ポイント還元、自治体職員が企業やハローワーク・学校・病院などに出向いての申請の出張窓口を設置、などからなる。

2022年度中にはほとんどの住民が保有することを想定し、今年8月をめどに具体的な工程表を公表する予定。



●教員の勤務時間 日本が最長

経済協力開発機構（OECD）発表によると、日本の小中学校教員の勤務時間が加盟国・地域の中で最長であることが分かった。小学校では週54.4時間、中学校では56.0時間。教育委員会への報告書作りといった事務作業や部活動が事務負担に。

●未払い賃金請求、期限延長へ

企業に残業代などの未払い賃金を遡って請求できる期間を、現行の2年から延長する方針を決定。来年施行の改正民法で、債権消滅時効が原則5年となったことを踏まえたもの。経営側からは企業負担増大を懸念する意見があり、労使間の隔たりが課題。

具体的な延長期間は、今秋にも労働政策審議会で議論される。





★最近のビジネスパーソンに多い「6月病」

新しい環境に適応しようと心身に緊張からくるストレスが溜まり、不調を感じる人が増えることは、いわゆる「5月病」として有名です。

しかし近年、ビジネスパーソンには学生とは時期がずれて同じような不調を感じる人が増え、「6月病」といわれています。新入社員に限らず、異動があった社員にも見られ、梅雨を迎える不安定な気候もあって不調を感じやすいようです。



★不調が出るのは正常な反応



従業員に元気がなかったり、遅刻や欠勤が増えたりすると心配になりますが、医師によれば、異文化に対する最初の適用反応として「頑張ろう！」とテンションを高めを保ち対処しようとする「**躁的防衛**」があり、その反動が心身の不調となって表れるということです。

疲れが出るのは当然のことと、泰然とした対応がよいそうです。

★誤った対処法に注意

不調への対処法は、気分転換をしてリフレッシュをしたりたっぷり睡眠をとってリラックスしたりと様々ですが、次のように逆効果になってしまうものもあります。

また不規則な生活は悪化の原因ともなりますので、さりげなく注意を促してあげるのもよいでしょう。

NG ・ 休日に寝だめをする

→ 体内時計のリズムが狂うと引きずってしまうので、**平日より2時間程度の寝坊**にとどめる。

NG ・ 天気が悪くても出かける

→ 低気圧になると空気中の酸素量が減り疲労を感じやすくなるので、**出かけるなら晴れた日**がよい。

NG ・ お酒を飲む

→ アルコールは一時的に気分を高揚させるが疲労そのものは回復しないので、**摂り過ぎないように**する。



2週間ほどでだんだん回復する様子であれば正常な防衛機制ですが、それより長引く場合は病的なことを心配するべきで、この時点で医師に相談するのがよいようです。

不調が見られたからと過敏に反応し過ぎず、しっかり観察しながら待つあげましょう。

「気になる！」を勝手に情報発信コーナー

書籍 55歳からの時間管理術 齋藤 孝

55歳からは「人生の折り返し地点」と筆者。後半の人生を爽やかに過ごすにはどう生きればいいのかを提案した本。

私はまだ55歳ではありませんが（念のため）、子どもらの成長に伴い、お金はかかりますが、手はかからなくなってきました。以前と違い、夜や休日を自由に過ごせるようになり、自分主導の時間管理術に興味湧いてきたというわけです。

どのようなライフスタイルで過ごすかは、人それぞれだと思いますが、時間的にも心理的にも余裕が出てくる人生の後半戦においては、他人に迷惑をかけない範囲で気の趣くまま、自由に過ごしたいと思う人が多いと思います。そんな世代がこれからの人生を充実させていくための指南書として有意義な提言をされていて参考になりました。



小千谷イベント 新緑に小千谷縮着始め会 6/1

小千谷縮の着始め会に参加してきました。西脇邸の庭園に集まり、居食亭 東忠まで着物で散策して美味しいランチをいただくというイベントでした。

当日は、夏着物の小千谷縮を着るにはぴったりの爽やかなお天気。皆さんの素敵な着物姿が目の保養になりました。



登山 守門岳 (1,537m) 5/26 関根

守門岳に山開きに登山してきました。保久礼登山口から2時間40分かけて頂上へ。東洋一の大雪庇（せっぴ）と新緑を満喫しました！

当日は、山開きとあって大変な賑わいでした。



今月のさぶろく せきね事務所の看板ねこ (2歳9ヵ月)

6月に入り、蒸し暑い日もありますね。

自宅のベッドカバーを冷感パッドに変えたところさぶろくさんは猫としてあるまじき姿で寝ているところを発見！気持ちよさそうな寝顔に癒されました。

